

東北地方 1か月予報

(5月31日から6月30日までの天候見通し)

平成20年5月30日
仙台管区気象台発表

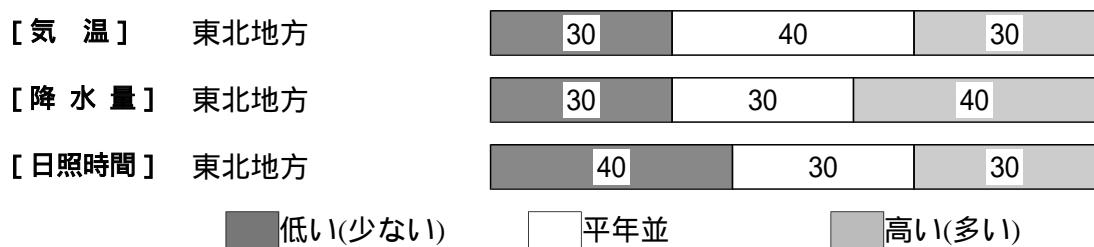
<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温の変動が大きいでしょう。

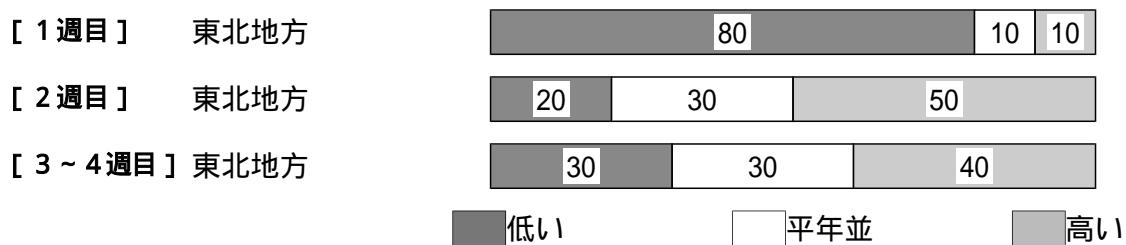
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があるでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。
週別の気温は、1週目は低い確率が80%、2週目は高い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 5月31日(土) ~ 6月30日(月)
1週目 : 5月31日(土) ~ 6月6日(金)
2週目 : 6月7日(土) ~ 6月13日(金)
3~4週目 : 6月14日(土) ~ 6月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月6日
3か月予報:6月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	16.9	83.9	190.6	15.7	16.5	17.5
深浦	17.1	111.1	188.3	15.7	16.6	17.7
むつ	15.6	113.7	172.2	14.4	15.2	16.0
八戸	16.1	101.9	178.1	15.1	15.8	16.6
秋田	18.8	132.1	186.2	17.3	18.3	19.4
盛岡	18.1	116.7	159.1	16.8	17.8	18.6
大船渡	17.2	172.1	157.9	16.0	16.9	17.7
宮古	16.0	117.7	150.0	15.0	15.7	16.4
仙台	18.3	139.4	137.3	17.3	18.0	18.7
石巻	17.6	112.6	154.0	16.5	17.2	18.1
山形	19.5	102.7	162.9	18.4	19.3	19.9
新庄	18.6	134.6	160.7	17.3	18.3	19.2
酒田	19.3	132.1	184.4	17.9	18.9	19.8
福島	19.9	117.7	139.5	19.0	19.7	20.2
若松	19.8	116.6	166.1	18.5	19.5	20.3
白河	18.4	168.4	130.4	17.4	18.1	18.8
小名浜	18.3	150.4	146.3	17.2	17.9	18.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.3	83 ~ 110	93 ~ 106
東北日本海側	-0.5 ~ +0.2	76 ~ 109	95 ~ 106
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.4	83 ~ 108	89 ~ 109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.5	-0.5 ~ +0.2
東北日本海側	-0.6 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.3
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成20年5月30日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月31日~6月30日):

天気は数日の周期で変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があるでしょう。東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。

なお、期間の前半は気温の変動が大きいでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(5月31日~6月6日):

期間のはじめと終わりは低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間の中頃は高気圧におおわれて、日本海側を中心に晴れる日があるでしょう。

平均気温は低い確率が80%です。

2週目(6月7日~6月13日):

天気は数日の周期で変わりますが、一時低気圧や前線の影響を受けるでしょう。東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

3~4週目(6月14日~6月27日):

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

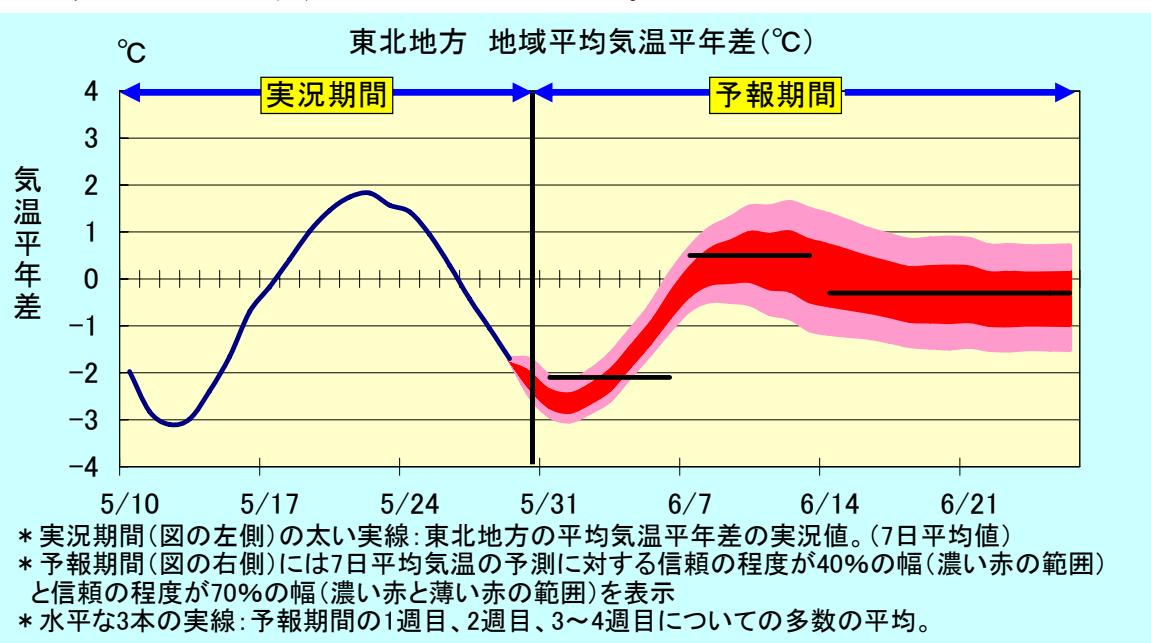
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.6日	4.1日	3.5日	6.0日
東北太平洋側	11.8日	3.8日	3.0日	5.0日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を大きく下回り、2週目は平年を上回り、3~4週目は平年付近の予想となっている。

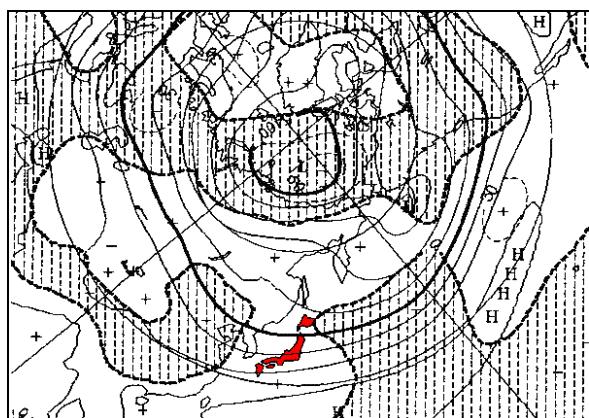


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は弱い正偏差だが、中国大陸と日本の東海上は負偏差。オホーツク海付近は平年より高度が高く、オホーツク海高気圧の出現を示唆している。東北地方は、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期がある見込み。

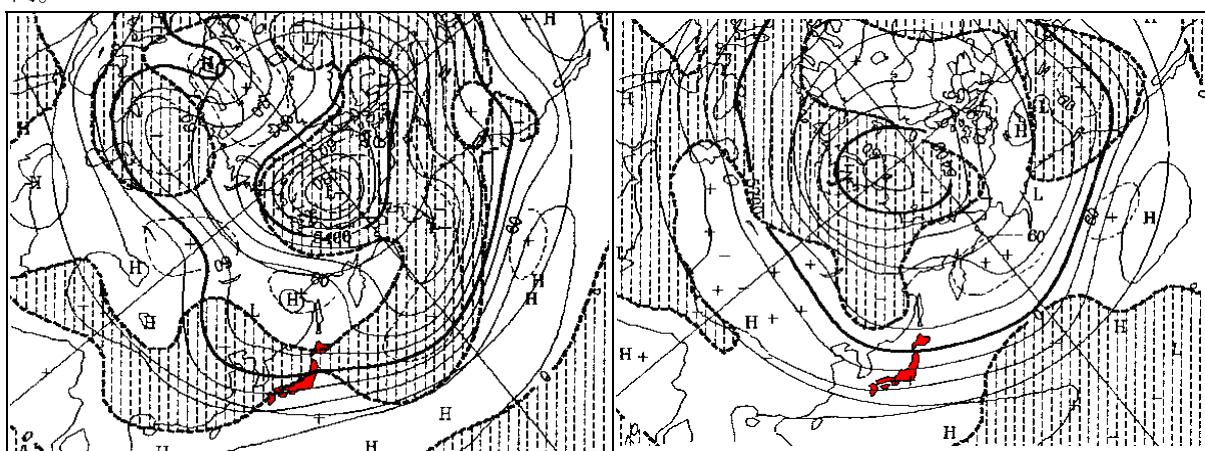
1週目: 中国大陸から北太平洋にかけて負偏差で、北日本も負偏差におおわれる。また、オホーツク海付近は平年より高度が高く、オホーツク海高気圧の影響を受ける予想。東北地方は寒気の影響を受けやすく、気温は低くなる見込み。

2週目: 中国大陸から日本の東海上にかけて正偏差。日本付近も正偏差におおわれて、高温傾向。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

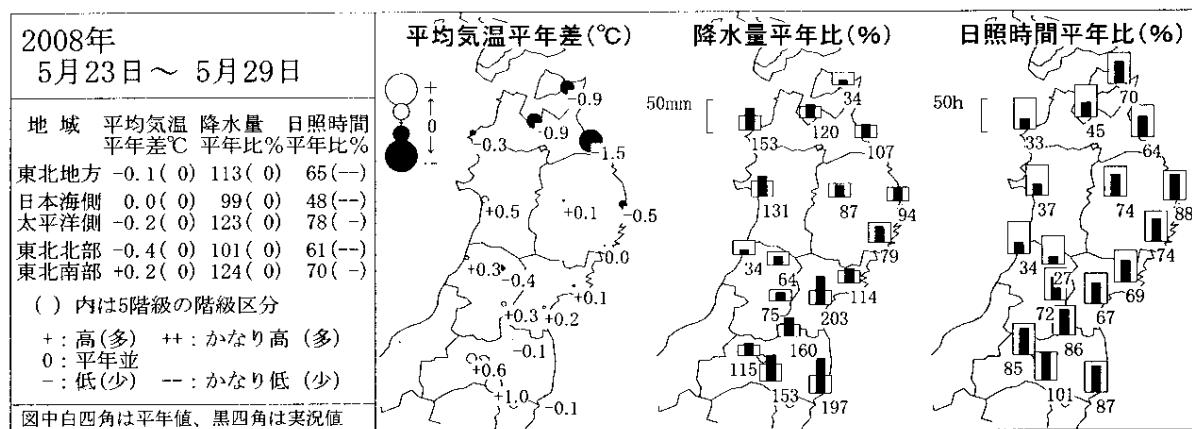
陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する

白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (5月23日～5月29日) の天候の経過

この期間、高気圧におおわれて晴れる日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となる日多かった。26日は上空の寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過したため、雷やひょうとなつたところがあった。また、28日からは寒気が東北地方に流入し、気温が低くなった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）